

世界音楽における即興 シリーズ

いろいろな国に伝統的な音楽がある。日本では雅楽や能の謡、また神楽などにも独自の音楽がある。同様にアジアの国々、中東やヨーロッパなど世界中の様々な地域に独自の音楽が存在する。いったいそれぞれの音楽はどうやって今の形になったのだろうか？おそらく音でコミュニケーションするための共通ルールの上で個人や集団が即興を繰り返し、その評価が更新され、音楽の様式も変化していったに違いない。それぞれにユニークな世界の伝統的な音楽におけるこの共通認識と即興について興味はつきない。

まずは6月、即興演奏のための膨大な音楽体系を持つ北インドの

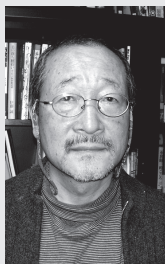
古典音楽に焦点を当て、3夜連続で徹底的にその仕組みについてお話を伺います。講師はもちろんHIROSこと中川博志さんです。3夜程度でインド古典音楽について理解はできないでしょうが、次の週末には小規模な音楽会を通して、インド音楽の魅力を即興演奏という側面からみなさんと堪能したいとおもいます。

なお、このシリーズでは8月から9月にトルコの音楽家を招き、中東地域の音楽についてふたたび即興演奏という視点から、連続の講座と音楽会を予定しています。全部受講したらすごい！

予 告

世界音楽における即興 シリーズその2「トルコの音楽」は、講義を8月26日(金)～28日(日)に、コンサートを9月4日(日)に予定しています。ご期待ください。

出演者プロフィール



HIROS; 中川 博志 (パーンスリー／トーク)
1950年、山形県生まれ。1981年～1984年インドのベナレス・ヒンドゥー大学音楽学部楽理科に留学、インド音楽理論を研究。大学のかたわら、パーンスリー(横笛)、ヴォーカルを習う。現在、パンディット・ハリプラサド・チャウラースィヤー氏にパーンスリーを師事している。演奏会の企画制作、インド音楽理論書の翻訳出版などを通してアジア各国及び日本のパフォーミングアーツ紹介の活動を続けている。訳書「インド音楽序説」は日本語で出版されている唯一のインド音楽理論書。昨年はCAP CLUB Q2で「インド音楽のレンズを通して見えてくるアジアの音楽の可能性」シリーズを企画。レクチャーと実演による全4回の公演はどれも好評を博した。天楽企画主宰。(ホームページ: <http://sound.jp/tengaku/>)



田中 りこ (タブラー)

1989年インド各地を旅行中にインド古典音楽の演奏に触れ、とりわけ打楽器タブラーの豊かな音色と表現力に魅せられ、学び始める。
1995年再びインドのカルカッタに渡り、タブラー演奏家オビジット・ベナルジー氏に師事。現在は関西を拠点に、ホールや社寺など各地でインド音楽を中心とした演奏活動を行っている。
そのほかテレビ・ラジオ出演、海外での公演、他ジャンルのCD作品に参加など、様々な活動を行っている。

世界音楽における即興 シリーズその1「北インド古典音楽」

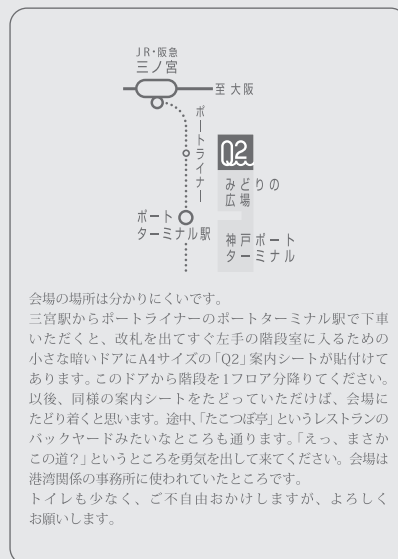
< 講 義 >

- 日 時：2011年6月17日(金) 19:00～
6月18日(土) 19:00～
6月19日(日) 16:00～
※18日(土)はSlit BAR同時開催
- 講 師：HIROS / 中川博志(インド音楽演奏・研究家)
- 料 金：各回1,000円／全回一括は2,400円(会員：1ドリンク付)

< コンサート >

- 日 時：2011年6月25日(土) 19:00～
- 演 奏：HIROS (パーンスリー)
田中 りこ (タブラー)
- 料 金：前売予約 2,000円(会員 1,600円) / 当日 2,500円

- 会 場：CAP CLUB Q2
〒650-0041 神戸市中央区新港町4-3 上屋Q2 2階
phone: 078-959-7707 (会場への問い合わせは当日のみ応答できます)
- 予約・問合せ：C.A.P.事務局 (10:00-19:00 / 月曜休み)
イベント名、お名前をお知らせ下さい
e-mail: info@cap-kobe.com
H P: <http://www.cap-kobe.com>
phone: 078-222-1003
- 主 催：C.A.P. (芸術と計画会議)
- 助 成：Asahi アサヒビル芸術文化財団 
- チラデザイン：駒井 和彬



C.A.P. の情報は、メールニュースでも配信しています。ご希望の方は info@cap-kobe.com までご連絡下さい。
＝ ＝ ＝
この事業は神戸市パートナーシップ活動助成を受けて実施しています。